



**◆二学期の復習に励む
小・中学校で冬休み学習会**

町 内の小・中学校では、冬休み中も子どもたちに望ましい生活習慣や学習習慣を身につけてもらおうと、地域の方の協力を得て学習会を開催しました。子どもたちは、北海道介護福祉学校や栗山高等学校の生徒などのボランティアの指導を受けながら、国語や算数、数学の問題に取り組みました。参加した植村一葵くん（栗山小3年）は「介護福祉学校のお兄さんが算数の解き方を教えてくれて、うれしかった」と話していました。（1月11日）

◆大会の成績

◇小学生の部優勝 栗山Aチーム（櫻井あずき、櫻井耕作、櫻井こみち）

◇中学生の部優勝 栗山Aチーム（岡山真子、片岡えり、櫻井旅人、越前谷拓翔）（敬称略）

耳を澄ませ木札取り合う 全町子どもかるた大会



全町子どもかるた大会が、農村環境改善センターで開かれました。小学生5チームと中学生3チームの計8チームが参加し、熱戦を繰り広げました。（1月13日）



**◆力強くのびのびと書き上げる
継立小学校で書き初め大会**

継立小学校では、土曜日の教育活動の一環として、町内在住で書家の奥田秋湖さんを講師に招き、書き初め大会が開かれました。参加した児童44人は、学年ごとに異なる課題の文字を、思い思いに書き上げました。参加した5年生の佐藤夏珠^{なづな}さんは「『平和な国』の『な』がひらがなので簡単かと思っていただけ、実際に書いてみたら難しかったです。でも、自分らしく書くことができましたので良かったです」と話していました。（1月20日）

**◆参加型音楽イベント
「デリバリズム」**

加型音楽イベント「デリバリズム」が、カルチャープラザ「Eki」で開かれました。町民や関係者など約180人が参加。プロドラマーの菅沼孝三さんがカホンなどの打楽器を紹介した後、参加者全員でリズムセッションをしたり、和太鼓チーム「艶美火舞羅^{えんぴろ}」と演奏しました。初めてカホンを体験した狩野菜乃芭ちゃん（栗山小1年）は「少し手が痛くなったけど楽しかった」と話していました。（1月20日）



栗山町生涯学習情報

第30回札響ひなまつりコンサート

尾高&豊嶋コンビによる
〈オール・チャイコフスキープログラム〉

マナビィ

栗山町教育委員会
総合福祉センター「しゃるる」
TEL72-1117 FAX72-6522



指揮 尾高 忠明さん

◆日時 3月3日(土) 開場 午後5時半
開演 午後6時半

◆場所 町スポーツセンター

◆入場料

◇大人 前売券 2000円
当日券 2500円

◇高校生以下 前売券 500円
当日券 700円

◆持ち物 上靴またはスリッパ、靴袋

◆販売先 カルチャープラザ「Eki」、

札響名誉音楽監督の尾高忠明さんが、2013年公演以来の登場で皆さまに札響サウンドをお届けします。第1部は豊嶋泰嗣さんによるヴァイオリン協奏曲、第2部は尾高忠明さんの選曲による特別バージョンです。

◆内容

◇指揮 尾高忠明さん

◇独奏 豊嶋泰嗣さん

◇管弦楽 札幌交響楽団

【問い合わせ】
町教育委員会社会教育グループ
☎72-1117

・「白鳥の湖」より
情景、ワルツ、4羽の白鳥の踊り、終曲

◆曲目

◇第1部
・ヴァイオリン協奏曲ニ長調
Op.35

◇第2部
・「くるみ割り人形」組曲より
小序曲、トレパツク、花のワルツ

・「白鳥の湖」より
情景、ワルツ、4羽の白鳥の踊り、終曲



独奏 豊嶋 泰嗣さん

図書館へ行こう！

◆新しいDVD購入のお知らせ

◇マダガスカル(子ども向け映画)

◇ロミオの青い空(子ども向け映画)

◇ハルをさがして(大人向け邦画)
このほか8点購入しています。
どうぞご利用ください。
※館内でのみ視聴可能です

◆今月の特集コーナー紹介

テーマに関連した図書を各特集コーナーにて紹介しています。ぜひお立ち寄りください。

◆内容

・一般書テーマ「チャンプはこれだ！ビブリオバトル！」

・児童書テーマ「チョコ！つとあま！おいしいの本」

◇期間 2月28日(木)まで

◇場所 町図書館特集コーナー
※一般書は入つてすぐ左の棚、児童書はカウンター正面の棚にあります。

【問い合わせ】
町図書館 ☎72-6055



大人になつてからの勉強会 参加募集！

くりやま
地域大学

普段なかなか聞くことができない大学などの先生のお話を聞くことができる貴重な機会です。地域の活動や仕事、趣味に役立つ内容となっていますので、ぜひご参加ください。

- ◆場所 総合福祉センター「しやるる」
- ◆対象 18歳以上
- ◆受講料 1500円(全4講座)
- ◆定員 20人
- ◆申込期限 2月19日(月)
- ◆申込先・問い合わせ 町教育委員会社会教育グループ ☎1117

「体調改善&貯筋体操」講座

◆日時

3月9日(金)、16日(金)、23日(金)
午前10時～正午

◆場所

カルチャープラザ「Eki」

◆内容

体操、セルフリンパマッサージ、ストレッチなどで健康な体づくり

◆受講料

600円(3回分)

◆持ち物

長いフェイスタオル、動きやすい服装、5本指靴下(無い方は裸足)

◆定員

20人

◆講師

フィットネスインストラクター 大場 杏さん

◆申込期限

3月2日(金)



そんな疑問に、お答えします！



天気予報って全然当たらない……
週間予報って意味あるの？

最近よく聞く外来種ってどんな生き物がいるんだろう？

栗山町の農業について詳しく知りたいな

旬じゃない季節でも新鮮な野菜が手に入るけど
どういう技術が使われているんだろう？

【1回】栗山町の農村の成り立ち

◆日時 2月23日(金)
午後7時～8時半

◆講師

北海道大学大学院農学研究院 坂下 明彦教授

【2回】新鮮な野菜を新鮮なままで届けるために

◆日時 2月26日(月)
午後7時～8時半

◆講師

酪農学園大学農食環境学群・食と健康学類 樋元 淳一教授

【3回】問題視される外来種の陰で身近に迫る意外な外来種

◆日時 3月7日(水)
午後7時～8時半

◆講師

北海道爬虫両棲類研究会 徳田 龍弘会長

【4回】天気予報の活用術！

◆日時 3月9日(金)
午後7時～8時半

◆講師

酪農学園大学農食環境学群・環境共生学類 馬場 賢治准教授

ヤム・ニ・ウシ美術展と 友田多喜雄さんの歩み

友田多喜雄氏の略歴

- 1931年 東京本郷に生まれる。
- 45年 土別に入植。約20年間開拓生活を送り、この間に詩と評論を書き始める。
- 66年 新しい子どもの歌創作全国コンクールで特賞を受賞
- 69年 「詩法 ベトナム反戦と愛の詩集」で第2回小熊秀雄賞を受賞
- 90年 栗山へ移住。翌年、一度に70点近いコレクションを展示する美術展を年2回ペースで始めた。
- 96年 第1回ヤム・ニ・ウシ美術展を開始

ヤム・ニ・ウシ美術展

友田さんは、詩人、児童文学者として作品を作るときには、美しい絵や音楽や文化に触れることが必要という思想から、世界中の巨匠の絵画をはじめ、民俗学的な種々の工芸品などを収集されました。その数は約2000点にもなります。

ヤム・ニ・ウシ美術展は、収集した作品を皆さんにも見ていただくことと企画し、小規模ながらも広く町民に親しまる美術展となり、これまで87回にわたり開催されました。

最終回となったヤム・ニ・ウシ美術展「北海道の版画家たち展」が、1月10日から21日まで町図書館で開かれました。ふくろうやハクチョウなどの絵本で知られる木版の手島圭三郎さんが描いた「しまふくろう」や、木の瀬博美さんの「心の旅」など25点が展示されました。会場に置かれたアンケートには「長年にわたり貴重な所蔵作品を公開くださりありがとうございます」「美術展を毎回楽しみにしていた」との感想が寄せられていました。

友田先生、今までありがとうございました！



友田多喜雄文化講演会「美しいものと栗山のくらし」
1月14日に町図書館で友田さんの文化講演会が開かれ、作品に魅了された約50人のファンが参加しました。

友田さんは「作者の知名度にとられず、自分が美しいと思った物は美しい」と言っていました。名の無い作者が道端で売っている物でも美しい物はある。美しい物を見ることで、心にゆとりと生活に潤いが与えられ、苦しいときや悲しいときには心を慰められ、克服する力も与えられる。また、87回の開催で一度も作品が盗まれなかった。いかに、栗山町の町民が善良であるか。町の皆さんに感謝したい」と栗山の暮らしと美術について感じたことや芸術の素晴らしさについて話されました。

町民ふれあい講座

【申込先・問い合わせ】
カルチャープラザ「Eki」 ☎73-3333